

研究課題	他者と協働した音楽的参与による学びのプロセスと 音楽的活動の実践開発		
氏名	岡田理佐子	所属 教育インキュベーション機 構/アート・アスレチック 教育センター	職名 助教
APRIN e-ラーニングプログラムの受講		<input checked="" type="checkbox"/> ←受講済の場合はチェックをすること	
<p>【研究成果の概要】（文字の大きさ9ポイント・字数800字～1600字程度）</p> <p>演奏者/聴き手の区別なしに、声や音を出し、身体を動かし、楽器を演奏するなど、さまざまな人々が集い共に音楽をするといった、参加型の音楽活動が近年増えてきている一方、その内容や目的についても「何が行われているか」「何が起きているか」が捉えられにくく、一見すると「活動あって学びなし」と、子どもの深い学びにはつながらないという見方も少なくない。そこで、小学生14名を対象に音楽ワークショップを実践し、子どもたちが何に楽しさや面白さを見出し、そこからどのような学びを得られるのか検証を行った。</p> <p>音楽ワークショップに参加した小学生は、1年生6名、2年生2名、3年4名、4年生2名であり、学年や音楽経験がバラバラであったため、楽譜を用いず、誰でもすぐにできる音楽活動を意識する必要があった。そこで、子どもたちが音楽を楽しむための条件を、5つのポイントに分けて整理した。</p> <p>①精神的な安心感：選択肢のある参加形態が用意され、間違いを気にせず、自由に表現できる。そしてそれを肯定的に受け止められる雰囲気がある。</p> <p>②身体的な配慮：年齢や障がいに関係なく、誰でも簡単に演奏・参加が可能である。</p> <p>③環境的な整備：音を出す・聴くことに支障のない空間がある。</p> <p>④音楽的な魅力：アレンジや工夫の余地があり、「いい音だな」と感じられる音楽ができる。</p> <p>音楽ワークショップは、本学芸術館ホールと音楽ホールにて、3日間かけて実施した。時間はそれぞれ2時間で、間に10分休憩を挟んだ。実践にあたり、動画や写真撮影の許可を取り、会場の4隅にビデオカメラを設置して実践の記録を取るとともに、各回の音楽ワークショップの終わりには、参加者に振り返りシートを記入してもらう形でデータを収集した。また、実践には鈴木楽器販売株式会社の協力を得て、鍵盤ハーモニカやミニグロックン、小物打楽器などの楽器を貸していただいた。</p> <p>3日間の音楽ワークショップを経て、子どもたちはたくさんの楽器に興味をもつとともに、楽譜を用いず誰でも参加できる活動により、「これをずっとやっていたい」という発言が出るほど、前向きに音楽を楽しんでいる様子が見られた。楽器に触れる感覚的な学びや、探究意欲が促されたと考える。さらに、グループでのリズムや旋律づくり、絵本を題材とした創作活動に発展していくと、自ら「こうしたい」というさまざまなアイデアが生まれる一方、他者の音や表現を意識・受容し、協力して取り組む姿が、その場や振り返りシートから確認できた。音や楽器への興味から主体的な学びが生成され、それが他者への共感的・協働的な学びや、音楽的思考を拡張する表現的な学びにつながったと考えられる。</p> <p>また、3日間ともに音楽をしてきたことで、子ども同士の関係性が構築された。参加者の1人は、最初はみんなの輪に入れなかったが、少しずつグループ活動に参加していき、コンサート当日には、子どもたちが全員で一緒に遊んでいる姿が見られた。また別の参加者は、コンサートの感想に「みんながいるから楽しくできた」「友達づくりができた」と書いていた。これらより、音楽ワークショップがコミュニティとしての役目を果たし、子どもたちが社会的な学びを得ることができたと考える。</p>			
<p>【研究成果発表方法】</p> <p>アート・アスレチック教育センター研究活動報告書 Vol.2（執筆中） 東京学芸大学紀要（機構）論文（投稿予定）</p>			

※発表論文名（口頭発表を含む）、氏名、学会誌等名（投稿中・投稿予定・執筆中）を記入すること。

※本経費を用いて、報告書（冊子等）を作成した場合には、本様式とともに1部を提出すること。

なお、提出された報告書は教育実践研究推進本部を通じて附属図書館へ寄贈する。

【使用額内訳】

物品費		旅費		その他	
232,485 円		円		111,270 円	
使 用 内 訳	品 名 等	数 量	単 価	金 額 (税 込)	備 考
	<物品費>		円	円	
	ビデオカメラ	1 式	63,139	63,139	
	クリップボード	1 組	4,798	4,798	
	名札	1 組	2,528	2,528	
	鍵盤ハーモニカ唄口ホース	10 個	450	4,500	
	トーンチャイム	1 組	88,200	97,020	
	ジャンベセット	1 組	43,200	47,520	
	書籍	5 冊	—	12,980	
	<旅費>				
<その他>					
	ピアノ調律費	1 回	26,400	26,400	
	照明学生謝金	2 名	6,150	12,300	
	照明学生謝金	2 名	9,840	19,680	
	演奏学生謝金	1 名	52,890	52,890	
使用総額				343,755 円	
「若手教員等研究支援費」配分額				350,000 円	

使用総額が配分額を超過した場合は、超過分の支出財源及び金額を記入すること。↑

※研究成果報告書（「使用額内訳」を除く）については、教育実践研究推進本部のホームページに掲載する。

※研究成果の実績報告等については、成果がまとまり次第、別途公表に努めること。